

財務ハイライト

■ 売上収益 (左軸)
■ コア営業利益 (右軸)
● 売上収益コア営業利益率

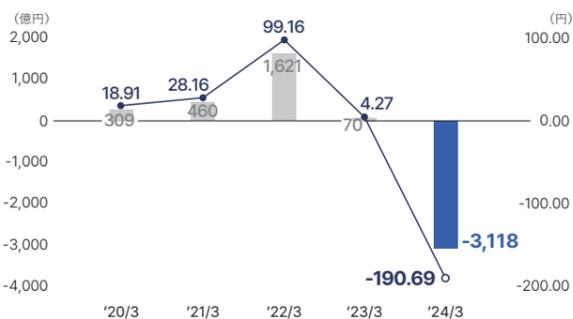
-1,490 億円 (コア営業利益) 2022年度比 ↓



医薬品におけるラズーダの米国での独占販売期間の終了、エッセンシャルケミカルズにおける取引条件の悪化等により、前年度に比べ売上収益は4,484億円減少し、コア営業利益は2,418億円悪化しました。

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益 (左軸)
● 基本的1株当たり当期利益 (右軸)

-3,118 億円 (親会社の所有者に帰属する当期利益) 2022年度比 ↓



コア営業利益の悪化に加え、医薬品やエッセンシャルケミカルズで多額の減損損失を計上したことにより、親会社の所有者に帰属する当期利益は前年度に比べ3,188億円悪化し、-3,118億円となりました。

■ 営業キャッシュ・フロー
■ 投資キャッシュ・フロー
● フリー・キャッシュ・フロー

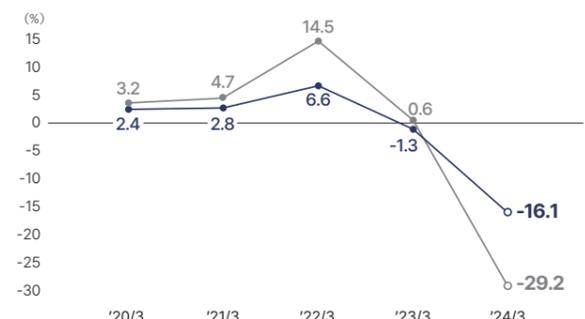
-1,636 億円 (フリー・キャッシュ・フロー) 2022年度比 ↓



営業キャッシュ・フローは税引前損益の悪化などにより前年度に比べ1,629億円収入が減少しました。投資キャッシュ・フローは貸付金の増加等により前年度に比べ928億円支出が増加しました。その結果、フリー・キャッシュ・フローは前年度に比べ2,558億円減少し、1,638億円の支出となりました。

● ROE ● ROI

-29.2% (ROE) 2022年度比 ↓
-29.8pt
-16.1% (ROI) 2022年度比 ↓
-14.8pt



親会社の所有者に帰属する当期損益の大幅な悪化に伴い、ROE、ROIともに前年度を大きく下回りました。

■ 資産合計 (左軸)
● 資産回転率 (右軸)

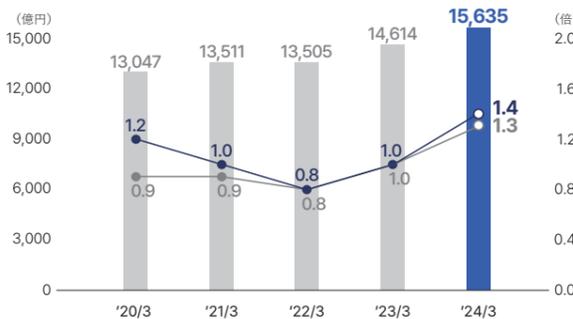
39,348 億円 (資産合計) 2022年度比 ↓
-5.5%



資産合計は、のれんおよび無形資産を減損したこと等により、前年度末に比べ2,307億円減少し、3兆9,348億円となりました。

■ 有利子負債 (左軸)
● D/E レシオ※1 (右軸)
● ネットD/E レシオ※2 (右軸)

15,635 億円 (有利子負債) 2022年度比 ↑
+7.0%

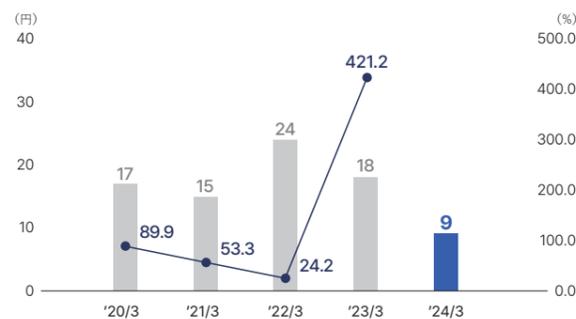


有利子負債残高は医薬品における借入金の増加などにより、前年度比で1,021億円増加しました。加えて、当期損益の悪化により親会社の所有者に帰属する持分、資本合計がともに減少したことで、D/Eレシオ、ネットD/Eレシオはともに上昇しました。

※1 D/Eレシオ=有利子負債/資本合計
※2 ネットD/Eレシオ=ネット有利子負債(有利子負債-現金及び現金同等物)/親会社所有者帰属持分

■ 1株当たり配当金 (左軸)
● 配当性向 (右軸)

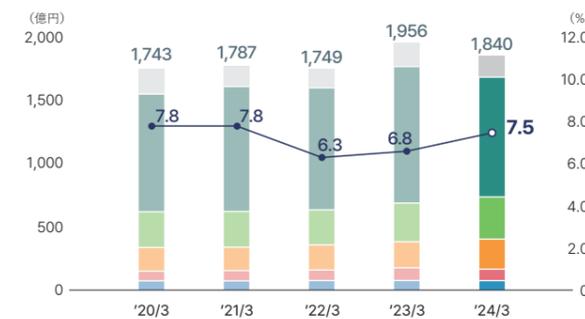
1株当たり9 円 (年間) 2022年度比 ↓
-50%



業績悪化に伴い、当期の配当は前年度比9円減配となる、1株当たり9円とさせていただきます。なお、当期損失を計上していることから、配当性向は算出していません。

■ 研究開発費 (左軸)
■ エッセンシャルケミカルズ ■ エネルギー・機能材料 ■ 情報電子化学
■ 健康・農業関連事業 ■ 医薬品 ■ その他
● 売上収益研究開発費比率 (右軸)

1,840 億円 (研究開発費) 2022年度比 ↓
-5.9%



研究開発費は、医薬品部門における人員適正化等により、前年度と比べ116億円減少し、1,840億円となりました。